



(本 社)	甲府市増坪町74	TEL055-241-3151	FAX055-241-8530
(営業所)	上野原市新田661	TEL0554-62-3321	FAX0554-62-3322

余寒の候、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます  
いつも弊社をご利用頂き誠にありがとうございます。暖冬ではありますが、山梨の景気は寒冷といった感じです。世界の情勢も不安要素が多くある中、日本の今後の情勢が気になります。今回は**図面材質**のことでお知らせ致します。(営業部 望月)

<編集者>  
塚原 佳由  
望月 博隆  
村松 貴  
赤木 健三  
山田 幸平

## 鋼種 Q & A ~図面記載の材質について~

図面に材質、metalと書いてある指定材料ですが、設計者の方によっていろいろと指定内容が変わっています。基本はJISに則って指定されているので例としてはSS、S45C、SCM系、SUJ2、SUS303、304、5052とかあります。SK、SKS、SKD11も記載があれば問題ないですが、メーカー指定があった場合、その指定に従わないといけないケースがあります。

(例えば、SKD11の場合)

日立	大同	ウツデホルム	日本高周波
SLD	DC11	SVERKER21	KD11



材質にDC11と書いてあった場合、大同指定となります。JIS基準の成分の種類、量は決まりがあり規定基準範囲であれば問題ないのですが、メーカーによって成分量にひらきがあります。焼き入れや強度、面も少し影響があるそうです。それによつての指定となるのです。特に鋼と言われる金型鋼や工具鋼など指定材質があった場合は注意が必要です。(中には材質の廃盤もでております。古い図面などは注意して頂き、代用材料があれば、親会社様に相談して頂いた方がよろしいかと思ひます。)また、S45C住友やSUS304愛知などメーカー指定などが出てきております。メーカー指定があった場合、その指定に従わないといけないケースがあります。メイン部品の硬さなどの安定化、違うメーカーでの使用で若干の狂いなどの防止があるようです。

最近では、中国製、韓国製の材料が市場に出ています。日本製と比べて単価は安いのですが、材料の安定、資質などは日本製が優れているのは言うまでもありません。こちらに関しても親会社様の許可が必要となります。景気に左右されている材料ですが、規格の廃盤、材質の廃盤(メーカー廃盤など)と多くなっています。材料のことで何かありましたら、各営業担当にご相談ください。



**★社長のワンポイント★** 昨年の製造業の一年の動きとして景気動向・経済動向を見ても大手主導でなかなか中小零細企業には恩恵的な部分はあまりなかったような様相で、これを良しとするかどうかですが、10年前どうであったのか?平成17年の頃何があったのか?大手都市銀行の「りそな銀行」が経営危機に陥り、政府が2兆円を出資し、実質的に国有化。世界経済の回復にあわせて輸出が増加し、設備投資も伸び景気回復の動きが強まり不良債権問題の処理も進展し、輸出と設備投資による景気回復が消費の回復につながり裾野の広い景気拡大となりました。それに伴い、都心部では地価が上昇に転じ始める。景気は拡張を続け、経済財政白書は「バブル後からの脱却」を宣言。しかし、景気は地方格差があり都会と地方、正社員と非正規労働者などの「格差」が問題視され政局も郵政民営化を争点とした小泉内閣の解散・総選挙いわゆる「郵政解散」で与党自民党が圧勝し、郵政民営化関連法案が成立。その当時、お客様との会話で記憶にある言葉が『景気良くなり無し』『売上上から無し』『大手の仕事が無い』『図面が無い』・・・無い無いづくしの言葉であったと・・・。現在も同様に新年の挨拶で訪問すると『無い』という言葉が多く聞きます。今も昔も実体経済は『無い』が通例と。今年は『無い』よりも『有るよ!』という言葉で景気良し!という事を感じ皆様にも多くの情報を、お伝え出来ればと思っております。

**★国中エリア動向★ 塚原**

昨年後半からの右肩下がりの状況が、1月に入っても変わらず続くように感じています。ただ、半導体関係の仕事がされている1次企業からの声は非常に前向きな言葉を頂いております。部品製造~組立作業まで一貫して忙しく動いており、残業や休日出勤を余儀なくされている企業もあるようです。車関係ではトヨタ車が新型プリウスを発表した事で、試乗車が各販売店に納入される前から受注が殺到している状況との事なので、関連部品の製造をしている企業は依然として高稼働をキープしているようです。トラックに関しては今まで日野、イサズの2強だった所に三菱が入り込んできた事で、市場での販売競争が国内、国外とも厳しくなっているようです。機械メーカーは大口の受注も今の所無く、設備投資を行う企業も昨年でほぼ終わっているようなので非常に厳しい状況だと言えます。現状、動きのある企業とそうでない企業との差が昨年以上に出来ているように思っています。各方面からの情報をしっかりと取り取って、皆さんにタイムリーな動きを報告して行きたいと思っております

**★郡内エリア動向★ 望月**

1月に入り、バタバタ感があり配達件数は増加しました。ただ数量が少ない状況が続いており訪問先が同じ所が多いのが現状です。年始の駆け込みといった感じです。全体的には、皆様のコメントも「12月とあまり変わらない」とおっしゃる方が多かったです。12月は非常に良くない状況でした。1月は期待したいと思いつつ状況報告します。郡内における工作機械メーカーでは、依然仕事量は変わらないそうです。F社は2月に動く噂はありますが、どの部署かが把握しておりません。半導体関係では、T社が2月に動くこと内示があったそうです。機械によって受注のひらきがあり、小さい部品の製造が動くようです。また他の半導体関係のお客様でも受注があり見積の引き合いなどがありました。自動車(トラック系)では、三菱の猛攻がありH社、I社の販売台数が減っております。仕事量も減る方向になるのではないかと心配しているそうです。動向も1月の中旬までのお伝えですので1月末になりどうなるか今後の動向に注意していきたいと思ひます。

**★上野原エリア動向★ 山田**

早いもので一月も終わってしまいました。雪が降ったりインフルエンザの季節です。体調には気を付けて頂きたいと思ひます。年明けからの動向ですが、依然として半導体・大型車・エコカー関係・医療機関係は増減が有るもの仕事があり忙しいお客様が多かったように感じています。東京、埼玉、神奈川方面のお客様も医療機関係の仕事では、四月までは決まりものがあるとお話も伺いましたし、半導体関係にしても多忙とまでは行かないようですが仕事があるようです。一月は全体的に忙しく稼働されていたお客様が多かったように感じておりますが依然として稼働率が良い企業とそうでない企業の差が昨年以上に感じられたように思ひます。また二月以降の受注が少ないと心配されるお客様や、試作専門のお客様も新しい案件が出てこない、試作品の改良をしている、とお話を伺いました。二月以降の動きに注意してより良い前向きな情報提供が出来るように目配りして行きたいと思ひます。